

教育課程部



持続可能な教育課程の創造と

次代を担う教員の育成

山形市立鈴川小学校 鈴木 伸 治

I はじめに

新型コロナウイルス感染症の5類への移行、また、これまでにない夏の暑さへの熱中症対策等々、今年度も教育活動の実施や延期、中止、縮小等の判断の多くが各学校に委ねられ、教育課程そのものが見直されることとなった。

また、近年、教員の世代交代が急激に進む中、学校の中核となるミドルリーダーはもちろん、初任者を含めた各年代においての人材育成は各学校の喫緊の課題となっている。

教育課程部では、想定外の出来事が次々と起こる学校現場だからこそ、何よりも子どもの成長を核とした、「持続可能な教育課程編成」と「次代を担う教員の育成」という2本の柱で研究を行った。

II 活動計画

1 活動方針

- (1) カリキュラム・マネジメントの推進について、研修を深めることを通して、新たな教育課題改善の方策を探る。
- (2) 主任等法規研修会及び教務主任研修会を実施し、ミドルリーダーの育成を図る。

2 活動の柱

- (1) 情報の収集・分析を基にした、持続可能な教育課程編成
- (2) 次年度の教育課程編成資料の作成
- (3) ミドルリーダーの育成を図る研修の実施
 - ① 教務主任研修会（8月、12月）
 - ② 主任等法規研修会（8月）

III 本年度の活動

1 部会

- (1) 第1回（4月11日）
 - ・研究主題（テーマ）の検討
 - ・年間計画作成 組織づくり
- (2) 第2回（5月12日）
 - ・東北連小打合せ・準備
 - ・主任等法規研と教務主任研の検討
- (3) 第3回（6月9日）
 - ・東北連小打合せ、準備
 - ・主任等法規研と教務主任研の細案検討 役割分担
- (4) 第4回（9月5日）
 - ・8月実施の研修会総括
 - ・中心協議「人材育成」（11月）の内容検討
- (5) 第5回（10月6日）
 - ・次年度教育課程編成（入学式、卒業式、お別れ会、研修会、授業日数）の検討
 - ・11月校長会の中心協議検討
 - ・12月教務主任研修会細案検討と役割分担
- (6) 第6回（11月10日）
 - ・「人材育成」の講義等 運営
- (7) 第7回（12月8日）
 - ・R6年度以降の市全体の事業の方向性の確認と第2回教務主任研修会の総括
- (8) 第8回（2月9日）
 - ・今年度の成果と課題
 - ・次年度の方向性の検討

2 11月定例校長会議 中心協議の話題提供

(11月10日)

(1) テーマ

「教育課程の改善や学校経営力の向上につながる人材育成」

(2) 内容

①講師：ライフサポート代表 金沢 信雄氏

②講義とワークショップ

- ・人間関係の構築に必要な礼儀の大切さ
- ・強くてしなやかな力の獲得
- ・最初に人とお付き合い、
次に仕事とお付き合い
- ・バスの手配ミスから学ぶこと
- ・コロナ禍からの学び
- ・動機付けの方法ワークショップ

3 研修会

(1) 主任等法規研修会（8月3日AM）

① 内容

- ・講話 事例演習

② 講師

- ・村山教育事務所 伊藤 哲也 主任管理主事

(2) 第1回教務主任研修会（8月3日PM）

① テーマ

「持続可能な教育課程の創造」と「次代を担う教員の育成」

② 内容

- ・グループ研修
事前に「教育課程編成」あるいは「若手教員の育成」のいずれかのテーマを選び、プレゼンソフトで作成。それをグループ内で発表し合い、意見交流
- ・全体での意見交流

(3) 第2回教務主任研修会（12月1日）

① テーマ

「持続可能な教育課程の創造（教育課程編成）」

② 内容

- ・グループ研修
R6年度教育課程編成の基本的な考え方、進捗状況、悩み等について情報交換
- ・全体交流
グループ研修で話題になったことを全体の場で発表

4 次年度の教育課程編成について

(1) 授業日数について

204日程度とし、増減の幅は±5日とした。

(2) 中学校や関係機関との連携

小中連携の観点から以下の行事を原則として市内各小学校同日とした。ただし、小中併設校はこの限りでない。

- ・入学式 R6年4月8日（月）
- ・卒業式 R7年3月18日（火）固定
- ・お別れ会 R7年3月25日（火）仮

IV おわりに

教務主任がコロナ禍の教育課程編成や放課後の時間の確保等について情報交換を行ったことは有意義であった。今後、各学校で教育課程を編成する際、効率だけを求めたり、単なる時数合わせになったりしないよう十分留意する必要がある。教育課程編成の目的は学校教育目標の具現化であり、そのために子どもたちにどんな力を付けたいのかを常に考えなければならない。

また、今年度の試みとして、教務主任全員にプレゼンソフトを使って発表してもらったり、タブレットを持参して情報を共有したりする場面をつくった。教務主任のプレゼン能力の向上につながったり、次年度教育課程編成の参考になったりすれば幸いである。

——— 教育課程部員 ———

◎富樫 朗（千歳小） ○鈴木 伸治（鈴川小）
大沼 清司（第二小） 高橋 和久（みはらしの丘小）
大城 勝利（滝山小） 土井 正路（大曽根小）